



青年海外協力隊に参加して

〜パキスタン見聞録〜 高見夏子さん(雨乞)

⑥ 認めあう 大切さ

当初、職場の上司は、現地スタッフの指導を私に要望していました。しかし当のスタッフ達は自分達なりががんばって働いていて、自信をもっていました。とは言っても、日本人の目から見れば、「どうしてこんな事を!？」と言う様な仕事ぶりです。

着任直後の私は「指導」と言う言葉が頭の中を占めていました。自分よりも年上のスタッフにナメられてはいけないうという気負いもあり、私はおかしいと思うことをとことん指摘しました。当然、プライドを傷付けられたスタッフは反発してきます。かろうじて挨拶だけを交わす様な関係が、半年近く続きました。

また、原因は文化の違いに

もありました。食べる物も違う、着る服も違うと話しているうちに、「夏どれだけ暑いか」と言うくだらない事まで、日対パで張り合いけんかするようになっていました。この頃の私達は、互いに「自分の国の方が良い!」と思うあまり、相手の事を知らうともせずに非難し続けていたのでしよう。

もうこれ以上悪くならないだろう、という程に関係がこじれてしまった時、ふと相手の気持ちを考えるようになりました。どうして、あんな意地悪を言うんだらう…。原因は自分の言った心無いひと言だったり、態度でした。

その事に気付くと同時に、あんなに理解出来なかった相手の言い分や考え方に対し、「それもあるかもしれない」と思えるようになりました。

こんな自分の変化に気付いた

たのか、パキスタン人の態度も同じように変わってゆきました。

全く違う環境の中で育った私達は、半年以上の月日をかけて、互いを理解し認めようと努力することで歩み寄り始めていたのです。



▶ スタッフ達と共に

平成14年就業構造基本調査にご協力を

国民のふだんの就業・不就業の状態を明らかにするため、全市町村(約9千世帯が対象)で実施されます。

特に、今回の調査では、雇用のミスマッチや産業構造の変化に伴う雇用流動化の実態などの就業に関する詳しい状況が明らかになり、国や県などの雇用・失業対策などの各種行政施策を立案する際の基礎資料となります。

調査の趣旨をご理解いただきご協力くださるようお願いいたします。

1. 調査の期日 平成14年10月1日現在

2. 調査の方法

調査対象に選ばれた世帯には、調査員が調査票の記入のお願いに伺います。

3. 問合せ先

日置町役場総務課企画情報係 ☎37-2111
山口県統計課 ☎083-933-2650